

## 第7期

# 運用報告書(全体版)

## 為替参照 分配金変動型 円建て債券ファンド2012-12 (愛称 グッド・スマイル2012-12)

【2016年6月20日決算】

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「為替参照 分配金変動型円建て債券ファンド2012-12（愛称 グッド・スマイル2012-12）」は、2016年6月20日に第7期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 岡三アセットマネジメント

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ  
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

【ホームページ】

<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はおお客様のご負担となります。  
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単字型投信／海外／その他資産（通貨）／特殊型（条件付運用型）
信託期間	2012年12月21日から2017年12月19日までです。
運用方針	主として、取得時においてA格相当以上のユーロ円建て債券に投資し、満期償還価額が投資元本に最終計算期間の分配相当額を加算した価額となることを目標とします。投資対象とするユーロ円建て債券は、米ドル／円為替レートの水準に応じてクーポンが決定される仕組みです。
主要投資対象	取得時においてA格相当以上のユーロ円建て債券を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎年6月19日、12月19日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、元本超過額または経費控除後の利子・配当等収益のいずれが多い金額とします。分配金額は、委託会社が、目標分配額を参考に、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			受益者 利益回り	米ドル/円為替レート (参考為替)		債組入比率	券率 元残存率
		税込み 分配金	期中騰落 額	期中騰落 率		期騰落 率	中騰落 率		
(設定日) 2012年12月21日	円 10,000	円 —	円 —	% —	% —	円 84.01	% —	% —	% 100.0
1期(2013年6月19日)	9,829	40	△131	△1.3	△2.6	95.28	13.4	98.7	99.7
2期(2013年12月19日)	9,879	40	90	0.9	△0.4	104.12	9.3	98.6	99.4
3期(2014年6月19日)	9,959	40	120	1.2	0.5	101.90	△2.1	98.5	99.1
4期(2014年12月19日)	9,982	40	63	0.6	0.7	119.37	17.1	98.5	98.4
5期(2015年6月19日)	9,973	40	31	0.3	0.7	123.14	3.2	98.4	96.4
6期(2015年12月21日)	9,915	40	△18	△0.2	0.5	121.39	△1.4	98.3	93.7
7期(2016年6月20日)	9,899	40	24	0.2	0.5	104.69	△13.8	98.2	90.9

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、設定日の基準価額は、1万口当たりの当初設定元本額です。

(注) 基準価額の期中騰落額と期中騰落率、および受益者利回りは、分配金(税引前)込みです。

(注) 受益者利回りは、設定来の年率換算利回りです。

(注) 米ドル/円為替レートは、当日の東京時間午後3時におけるロイター画面「JPNU」に表示される米ドル/円為替相場(1米ドルに対する円の価値)の仲値(売値と買値の平均値(小数点以下第3位切捨て))です。米ドル/円為替レートは、参考為替であり、当ファンドのベンチマークではありません。米ドル/円為替レートの仲値は、トムソン・ロイター・マーケット株式会社のデータを基に、岡三アセットマネジメントが算出しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	米ドル/円為替レート (参考為替)		債組入比率	券率
		騰落率	騰落率		
(期首) 2015年12月21日	円 9,915	% —	円 121.39	% —	% 98.3
12月末	9,915	0.0	120.38	△0.8	98.0
2016年1月末	9,920	0.1	120.56	△0.7	98.0
2月末	9,950	0.4	112.91	△7.0	98.1
3月末	9,929	0.1	112.27	△7.5	98.1
4月末	9,938	0.2	108.97	△10.2	98.1
5月末	9,933	0.2	111.27	△8.3	97.8
(期末) 2016年6月20日	9,939	0.2	104.69	△13.8	98.2

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比です。

**当ファンドの設定に伴い、決定した事項等は以下の通りです。**

当初為替	84.72円 ※2012年12月21日、2012年12月25日及び2012年12月26日における米ドル/円為替レートの平均値 (小数点以下第3位切捨て)とします。 《参照した3営業日間の米ドル/円為替レート》 2012年12月21日 84.01円 2012年12月25日 84.86円 2012年12月26日 85.31円			
分配額判定為替	81.72円 ※当初為替に対して3円円高米ドル安の為替レートとします。			
ファンドの信託報酬率	毎 日：信託財産の元本総額に対して年率0.2484% (税抜0.23%) うち委託会社 年率0.2160% (税抜0.20%) うち受託会社 年率0.0324% (税抜0.03%) ※当期末における消費税率は8%です。 設定日：信託財産の元本総額に対して1.05% (税抜1.00%) うち販売会社 1.05% (税抜1.00%) ※設定日における消費税率は5%です。			
目標分配額 (1万口当たり、税引前)	高位の目標分配額 各期40円	低位の目標分配額 各期10円		
	※目標分配額は、組入れたユーロ円建て債券の発行体が債務不履行や財務状況の悪化等に陥らず、当初予想通りの運用成果が得られた場合のものであります。したがって、分配額を保証するものではありません。また分配方針に基づいて、収益分配を行う予定ですが、収益分配金の支払いを保証するものではありません。 ※各計算期間において大量の途中換金の申込を受付けた場合には、目標とする分配額の一部あるいは全部をお支払いできないことがあります。			
ユーロ円建て債券の発行体	クレディ・アグリコル・CIB・ファイナンス (ガンジー) リミテッド 〔保証会社：クレディ・アグリコル・CIB〕 ※債券の銘柄入替えを行う場合があります。	発行体格付 スタンダード・アンド・プアーズ ムーディーズ	設定日 A A2	当期末 A A2

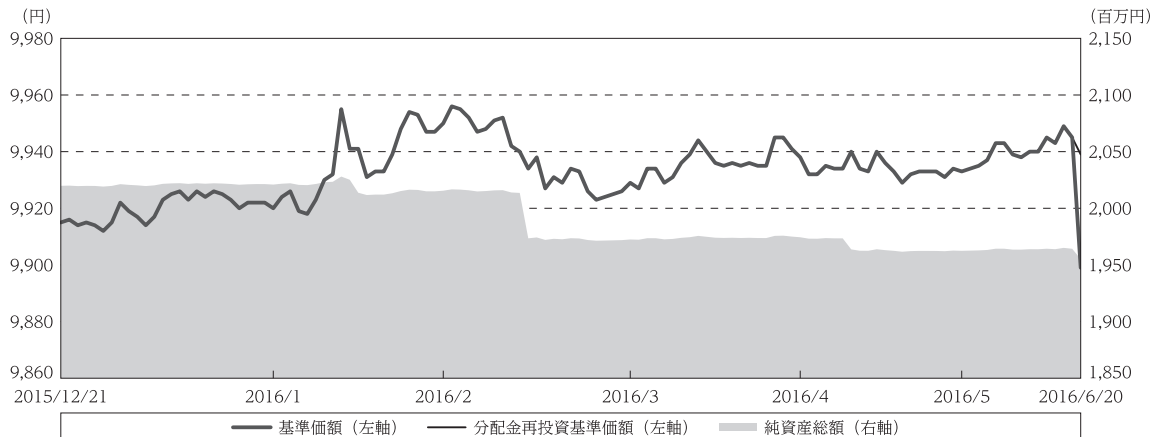
※ムーディーズ、スタンダード・アンド・プアーズとも金融商品取引法に基づいた信用格付業者の登録を受けておりません。

※ユーロ円建て債券の発行体の破綻や財務状況の悪化、および発行体の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、ユーロ円建て債券の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となる場合があります。このような場合には、ファンドの基準価額が大幅に下落し、大きな損失を被ることになります。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2015年12月22日～2016年6月20日)



期 首：9,915円

期 末：9,899円 (既払分配金(税引前):40円)

騰落率： 0.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2015年12月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### (主なプラス要因)

- ・国内金利が低下したことがプラスに寄与しました。
- ・当ファンドが組み入れているユーロ円建て債券の発行体の保証会社であるクレディ・アグリコル・C I Bの信用スプレッド(国債に対する利回り格差)は小幅拡大しましたが、債券保有期間に応じた収益が積み上がったことがプラスに寄与しました。

#### (主なマイナス要因)

- ・特にありません。

## 投資環境

(2015年12月22日～2016年6月20日)

### (債券市場)

日銀の金融緩和政策の継続により中長期的な国債需給の引締まりが意識される中、中国経済の先行き不透明感や原油安を受けた世界的なインフレ期待の低下を背景に長期債利回りは低下基調を辿りました。2016年1月末には日銀によるマイナス金利の導入決定を受け、長期債利回りは低下基調を強めました。しかしその後は、日銀の追加緩和観測がやや後退し、過度な利回り低下圧力が弱まり、長期債利回りは横這いで推移しました。期末にかけては、英国の欧州連合(EU)離脱への懸念から、相対的に安全な資産とされる国債に資金を移す流れが続き、長期債利回りは一時、-0.210%と過去最低水準まで低下しました。

### (為替市場)

中東情勢の緊迫化や原油安に伴う世界的な株価下落を背景にリスク回避の動きが強まり、米ドルが対円で下落しました。1月末には、日銀がマイナス金利の導入を決定し、米ドル/円が上昇する場面もありましたが、3月の米連邦公開市場委員会(FOMC)で利上げに対して慎重な姿勢が示されたことに加え、4月の日銀追加緩和見送り等を背景に、円高基調が強まりました。5月以降は、米国の早期利上げ観測の台頭から、米ドルが対円で一時上昇しましたが、その後の米利上げ観測の後退や英国のEU離脱懸念に加え、日銀の6月追加緩和見送り等を受け、米ドル/円が再度下落しました。この結果、当期間において、米ドル/円為替レートは13.8%程度下落しました。

### (クレジット市場)

クレディ・アグリコル・CIBの信用スプレッドは、中国株安・人民元安や原油価格の下落を受け、世界的に金融市場が混乱し株価が大きく下げる中、銀行規制強化に伴う収益の悪化等が意識され、欧州金融機関に対する不安が高まり、2月中旬にかけて拡大しました。その後は、欧米の株価が反発する中、欧州金融機関に対する不安も収束に向かい、信用スプレッドは縮小しました。3月中旬以降は、イタリアの銀行の不良債権処理の遅延に対する懸念や英国のEU離脱リスクの影響から、信用スプレッドは小幅拡大しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2015年12月22日～2016年6月20日)

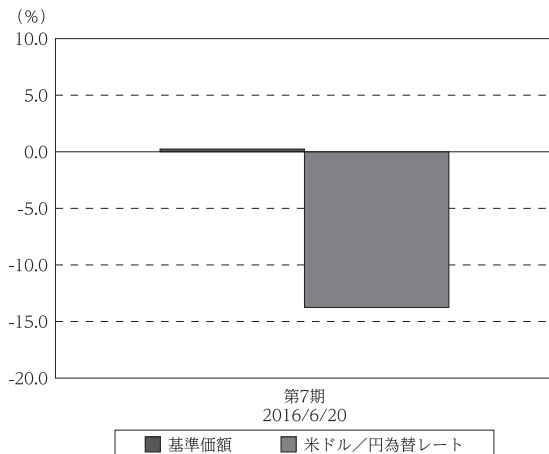
当ファンドの運用につきましては、投資方針に従い、設定日(2012年12月21日)に買い付けた、米ドル/円為替レートの水準に応じて利金額が決定される仕組みを持つ、クレディ・アグリコル・CIB・ファイナンス(ガーンジー)リミテッド発行のユーロ円建て債券を高位に保ちました。期中に一部解約があったため、ユーロ円建て債券を解約相当額売却しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年12月22日～2016年6月20日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考為替としている米ドル/円為替レートの騰落率を14.0%上回りました。

基準価額と参考為替の対比 (騰落率)



米ドル/円為替レートの推移



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

(注) 参考為替は、米ドル/円為替レートです。

## 分配金

(2015年12月22日～2016年6月20日)

当期の収益分配金は、分配額判定日 (2016年5月17日) の米ドル/円為替レートの水準が109.16円となり、分配額判定為替である81.72円よりも米ドル高円安となっていたため、高位の目標分配額である1万円当たり40円 (税引前) とさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、ファンドの運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

## 今後の運用方針

今後も運用の基本方針に基づき、ユーロ円建て債券の組入比率を高位に維持いたします。

○1万口当たりの費用明細

(2015年12月22日～2016年6月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 12	% 0.124	(a) 信託報酬＝計算口当たり計理上元本×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(11)	(0.108)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(－)	(－)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.005	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	13	0.129	
期中の平均基準価額は、9,930円です。			

- (注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年12月22日～2016年6月20日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	普通社債券(含む投資法人債券)	千円 —	千円 60,429

- (注) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれておりません。)  
 (注) 単位未満は切捨てです。  
 (注) 普通社債券(含む投資法人債券)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年12月22日～2016年6月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2016年6月20日現在)

### 国内公社債

#### (A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末			残存期間別組入比率			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	5年以上	2年以上	2年未満
					%	%	%
普通社債券 (含む投資法人債券)	千円 1,952,435 (1,952,435)	千円 1,919,244 (1,919,244)	% 98.2 (98.2)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 98.2 (98.2)
合 計	1,952,435 (1,952,435)	1,919,244 (1,919,244)	98.2 (98.2)	— (—)	— (—)	— (—)	98.2 (98.2)

(注) ( )内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) BB格以下組入比率は、S & PとMoody'sの信用格付けのうち、高い方を採用しています。

(注) —印は組み入れがありません。

#### (B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末		
	利 率	額 面 金 額	評 価 額
普通社債券(含む投資法人債券)	%	千円	千円
CREDIT AGRICOLE CIB 20171213	—	1,952,435	1,919,244
小 計		1,952,435	1,919,244
合 計		1,952,435	1,919,244

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 利率は、米ドル/円為替レートの水準によって決定されます。

## ○投資信託財産の構成

(2016年6月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,919,244	% 97.6
コール・ローン等、その他	46,843	2.4
投資信託財産総額	1,966,087	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。



○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年6月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,966,087,040
コール・ローン等	46,842,674
公社債(評価額)	1,919,244,366
(B) 負債	10,944,523
未払収益分配金	7,900,639
未払解約金	495,550
未払信託報酬	2,440,262
未払利息	56
その他未払費用	108,016
(C) 純資産総額(A-B)	1,955,142,517
元本	1,975,159,984
次期繰越損益金	△ 20,017,467
(D) 受益権総口数	1,975,159,984口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,899円

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は0.9899円です。

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は20,017,467円です。

(注) 当ファンドの設定元本額は2,172,319,984円、期首元本額は2,037,159,984円、期末における元本残存率は90.9%です。

○損益の状況 (2015年12月22日～2016年6月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	12,291,227
受取利息	12,107,514
その他収益金	187,644
支払利息	△ 3,931
(B) 有価証券売買損益	△ 857,772
売買損	△ 857,772
(C) 有価証券評価差損益	△ 4,193,801
(D) 信託報酬等	△ 2,585,447
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	4,654,207
(F) 前期繰越損益金	△17,328,285
(G) 解約差損益金	557,250
(H) 計(E+F+G)	△12,116,828
(I) 収益分配金	△ 7,900,639
次期繰越損益金(H+I)	△20,017,467

(注) 損益の状況の中で、(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額、監査費用を含めて表示しています。(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金  
計算期間末における当ファンドの配当等収益額(12,291,227円)から経費(2,585,447円)を控除した額(9,705,780円)に、期末の受益権口数(1,975,159,984口)を乗じて期中の平均受益権口数(2,003,445,698口)で除することにより分配可能額は(9,568,748円)(10,000口当たり48円)であり、うち7,900,639円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	40円
支払開始日	2016年6月24日(金)までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

<お知らせ>

該当事項はございません。